



『減価償却型専属委託ロジサービス』のご提案書

株式会社イーブライト

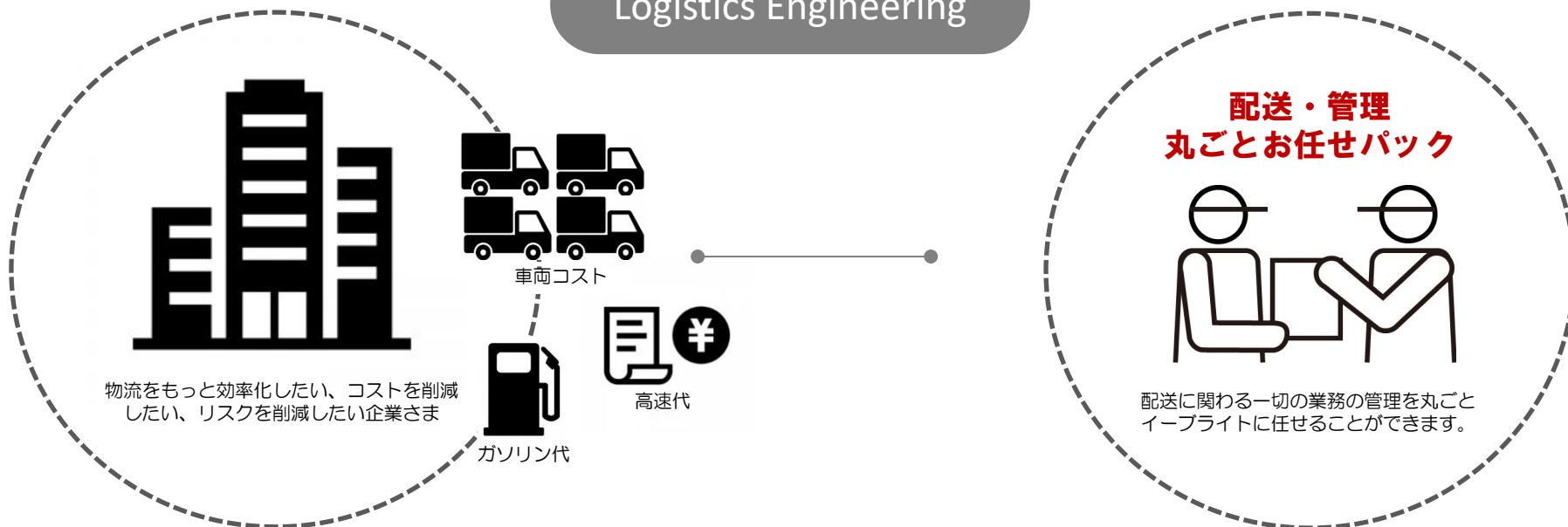
『株式会社イーブライツ』ではお客さまに合わせた
タイムリーで適切な資材輸送をはじめ、スーパー、CVS、飲食店への円滑な個別配送、
物流センター向けの過不足のない配荷システムを
24時間365日お客様のニーズに合わせて構築しております。
この度、ロジスティックス業界で現在トレンドになっている
アフターコロナに合わせた新たな物流システムである
『減価償却型専属委託ロジサービス』を
開始しましたのでご提案させていただきます。

『減価償却型専属委託ロジサービス』

イーブライのロジスティクスエンジニアリングにより、お客様の物流システムを最適化する『減価償却型専属委託ロジサービス』を導入することでアフターコロナに合わせた、次世代型の物流を展開することが可能です。



Logistics Engineering



イーブライでは、お客さまだけのご要望に合わせた配送を実現するために、専属配送業務を受託して、定期便は、月・曜日・年単位でお客様と契約を結び、毎週でも、毎日でも、週1日でも、決まった日時と場所に集荷に伺い、指定先にお荷物をお届けいたします。配送日時の設定などはもちろん、お客さまのいろいろな要望にフレキシブルに対応が可能です。

集荷場所は貴社のセントラルキッチンで、納品先の店舗が都内のエリアから離れた場所にあるといったケースでも大丈夫です。

「予想よりも商品が増え、契約のトラックでは運送できない・・・」といった緊急事態でも柔軟に対応いたします。定期便のアウトソーシングにより、配送業務の管理の手間や時間の削減、配送リスクの削減だけでなく車両を自社の資産として保有することが可能です。

『減価償却型専属委託ロジサービス』の導入により相互にシナジー効果を生み出すことが可能となります。

2社間でのシナジー効果『スマート物流』

お客さま

イーブライト

目的

配送手配の効率化とコストダウン

コストの最適化

食材原価・配送費用の見える化が可能

専属の配送事業によるコミット

お客さまの配送業務を
全て管理



ドライバー1人あたり

65万円（税別）

お任せパック

メリット

店舗の経営に専念できる

必要経費

- 車両リース
- ガソリン
- 点検、整備、車検
- 車両保険
- 車庫代
- 高速代

圧倒的なコストダウンを実現

イーブライツお任せパックの費用と他社を比較してみると非常にお得になることがわかります。※配送2台運行（エリアは神奈川～東京都内）の場合

A社 ……126万円／月 42,000円／1日

・ドライバー1人・・・実働時間1日10時間（休憩2時間）

B社 ……114万円／月 38,000円／1日

・ドライバー1人・・・実働時間10時間（休憩2時間）

弊社 ……65万円／月 21,666円／1日

・ドライバー1人・・・実働時間10時間（休憩2時間）

**1月あたり50万円～60万円以上のコストダウン！
1年に換算すると50万円～60万円×12カ月＝600万円～720万円の
コストダウンを実現！**

例）イーブライツ丸ごとお任せパック（2台運行の場合）

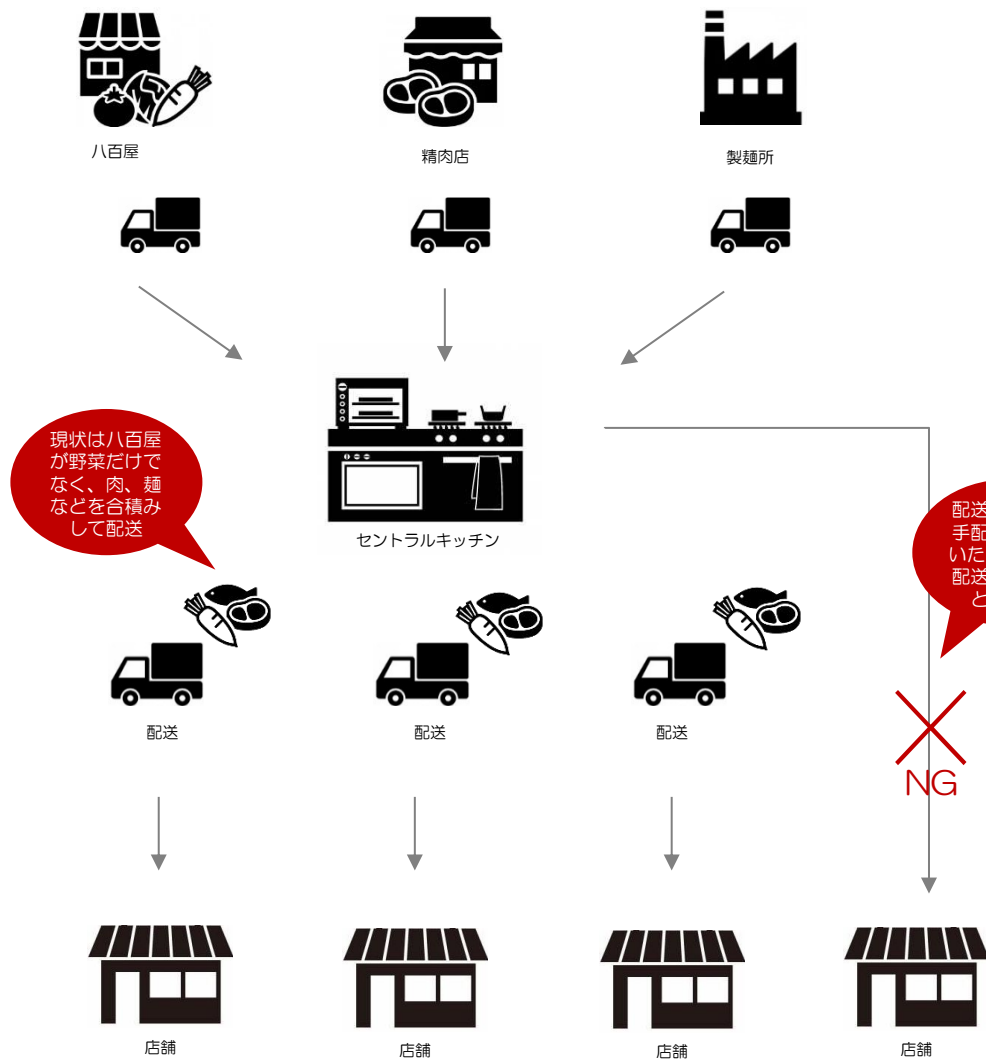
※1ヶ月にかかる費用・・・2,200,000円 + 定期点検（6ヶ月に1回）

内訳：月々車両リース料140,000円 車両費につきましては、資産計上～減価償却
月々保険料58,000 運行経費 ガソリン代、高速代、消耗品
配送料金は、一定額のドライバー1人につき650,000円／月 + 諸経費 + 車両費（資産計上）

★ドライバー3人雇用
★車両ドライバーは、一般貨物運送業の法令通りの勤務体系により、確実かつ安全に配送ができます。

従来型の物流システム

現状の配送システムでお客さまが利用している多いパターンは、荷物を合積みし各納品業社が配送できるエリアにある店舗だけに納品に行くのが通常です。



従来型の物流システムのデメリット

- ①物流の諸経費も加味され、仕入れ代金のみでの交渉ができず、原価が不明確
- ②何かトラブルが生じた時に、急な配送の対応ができない
- ③遠方の店舗であれば、ガラの回収をすることができない
- ④人手不足からくる輸送費用の高騰などによる経費の圧迫
- ⑤配送業者の配送費用の値上げに、常に応じなければならない
- ⑥配送会社の手配による人件費が生じる

従来の物流システムであると、効率が悪いだけでなく、コストアップにつながるケースが多く、見直しをし始めている企業が、最近では非常に増えています。

配送を自社や仕入れ先と同じ業者で完結することで生まれるリスクが多い事がわかります。

経費科目	自社便として自社で車両購入・運行	仕入れ先業者による相積配送・運行	イーブライト
ドライバーの求人・離職・教育・管理など	有	無	無
車両の維持管理	有	無	無
運行ルート調整配車	有	無	無
急な配送による料金アップ	無	有	無
厳正な仕入れ先の選定	可	不可	可
時間指定	不可	不可	可

自社便として自社で車両購入・運行の場合

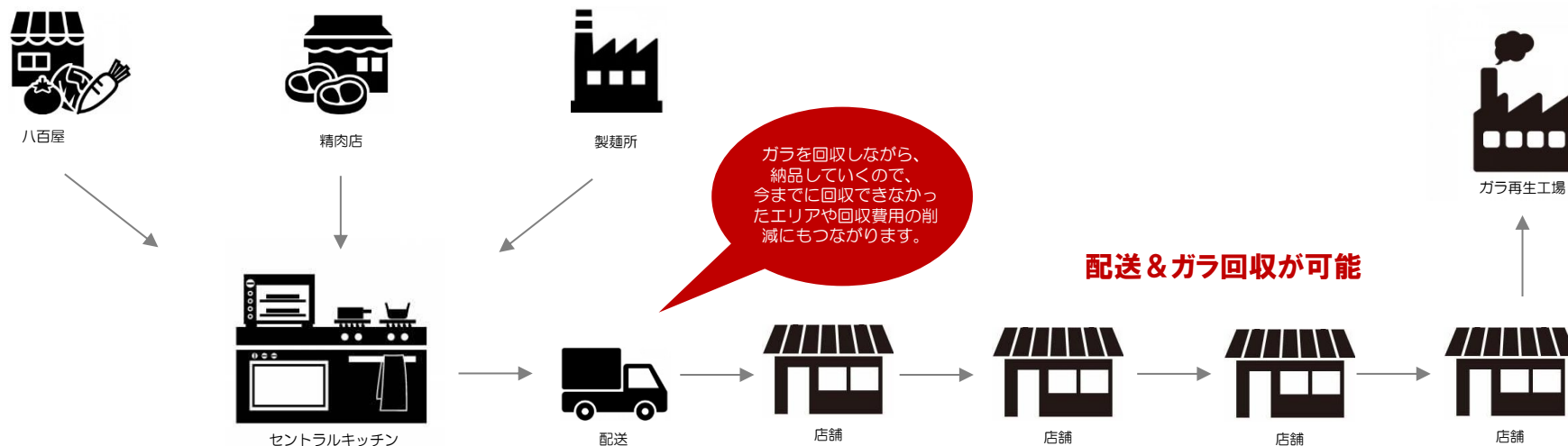
- ①お客さまが自社で車両を購入し運行している場合、ドライバーの求人採用が必要となり、離職した際に新しいドライバーが入社するまで求人費用が掛かってしまいます。また、慢性的なドライバー不足のため、なかなか採用も簡単ではないケースが圧倒的に多いです。
- ②自社で自社便を購入し、運行する場合ドライバーへの運転教育や日報管理、配車など管理者が必要になってしまいます。
- ③車両管理（日々の整備や点検などを怠ることによる修理代の増加）が生じ、手間、時間、コストがかかってしまいます。

仕入れ先業者による相積配送・運行の場合

- ①仕入れ業者に一時的に配送を依頼する場合、スポットのため正規の料金よりも割高になってしまいます。
- ②在庫切れや欠品などで急な配送が生じた時にも割高になってしまいます。
- ③配送ルートの制約があり、配送してもらえないエリアに店舗がある場合は融通が利きにくいケースが多いです。

『減価償却型専属委託ロジサービス』のメリット

『減価償却型専属委託ロジサービス』の特徴は、お客さまは車両を導入するだけで、配送に関わる全ての業務はイーブライツが委託して運用するものであり、多くのメリットを得ることができるモデルとなります。



減価償却型専属委託ロジサービスのメリット

- ①仕入れ代金のみ交渉のため、仕入れ原価の見える化が可能
- ②急な配送でも専属ドライバーがいるので配送が可能
- ③今までガラの回収ができなかった、遠方エリアの店舗であっても配送の戻りに回収が可能
- ④車両自体を、お客さまに購入していただくことで、現在配送における支払い金額の一部が資産計上され、原価償却の対象になる
- ⑤使用者の欄には、一般貨物運送事業取得のイーブライツが入るので、手間がかからない

お客さま負担

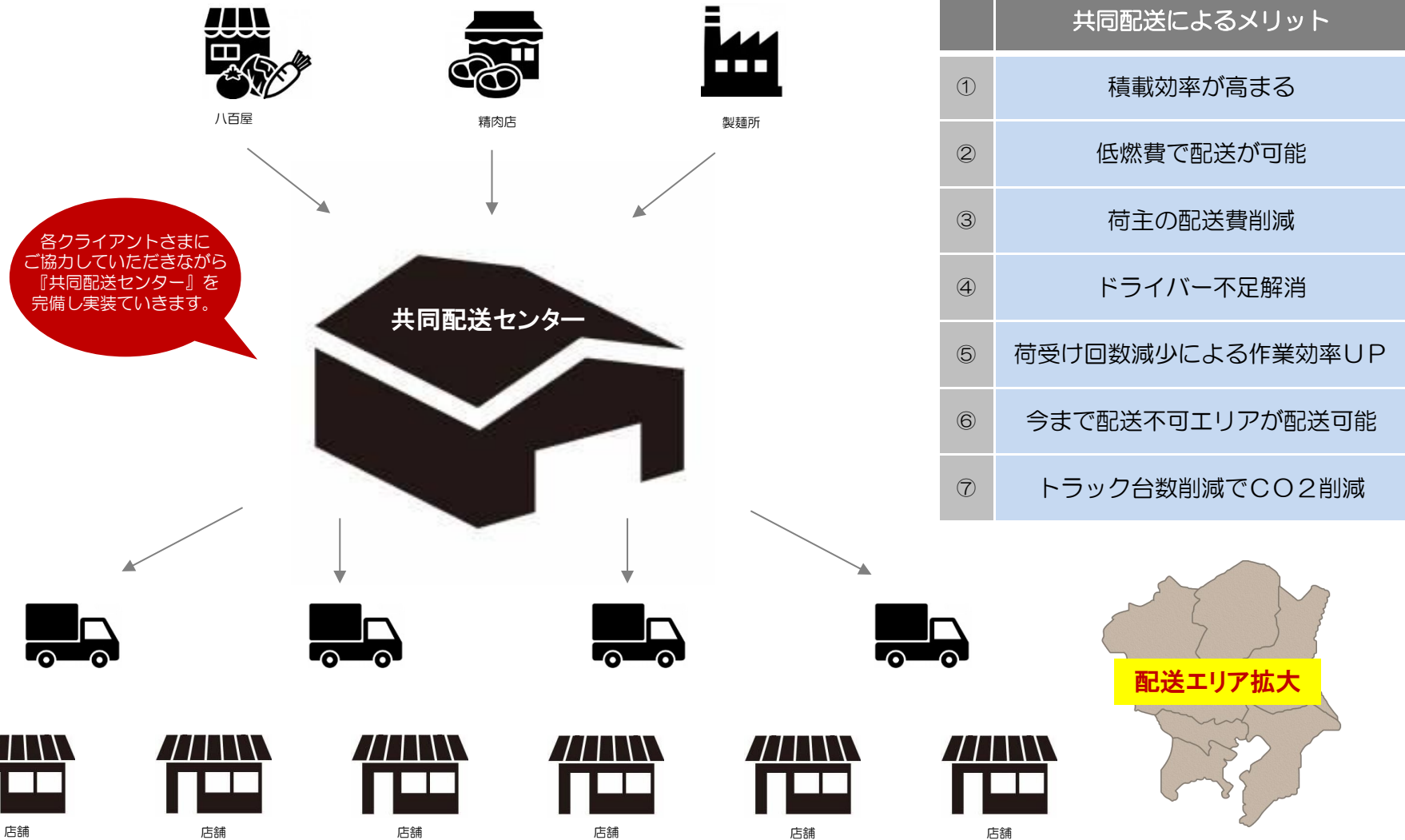
- 車両リース
- ガソリン
- 点検、整備、車検
- 車両保険
- 車庫代
- 高速代

ドライバー条件

- 週休2日
- 拘束時間 9時間
- 社会保険

共同配送によるスマート物流を実現

各クライアントさまの配送費用のコストダウンだけでなく、配送の効率化、CO2削減による地球環境などにもつなげていけるように、共同配送センターによるスマート物流を実現していきます。



イーブライツでは、今後のビジョンとして食材の仕入れ配送からガラ回収、そしてガラの廃棄処理までを一貫して担うことで、地球環境にやさしいエコサイクルを回していける企業を目指しております。

また、各クライアントさまの物流のコストダウン、仕入れコストダウンにつながる体制を作っております。

■ガラ回収エリアの拡充

- 今までにガラ回収ができなかった店舗の回収も検討しております。
- ガラ回収エリアが拡充することで、各クライアントさまの廃棄料の削減につながります。

■配送経費のさらなる削減

- 各クライアント様に導入していただいた場合、エリアごとの配送により配送経費のさらなる削減を目指します。

■倉庫導入によるユーザビリティ向上

- 各クライアントさま達の共同仕入れ、共同配送を視野に倉庫導入を目指します。
- 全ての仕入れを一元化することで、クライアントさまのニーズにいち早く応えられる体制を作ります。

様々な業界で配送の効率化とコスト削減を図るための『スマート物流』がどんどん進んでいます。

ファミリーマートは、経済産業省支援のもと、戦略的イノベーション創造プログラム「スマート物流サービス」プロジェクトに協力し、セブン-イレブン・ジャパン（以下、セブン-イレブン）と、ローソンとともに、チェーン横断的な共同配送の実証実験に参加することを発表した。



今回の実験では、東京都内湾岸エリアの3社の近接した店舗に対し、同じトラックで商品の納品を実施し、共同化による物流効率化の効果を検証。

具体的には、江東区の物流倉庫に共同物流センターを設置設定し、各社の常温配送の商品を、それぞれのセンターから商品移送（横持ち）を行い、チェーン横断的に効率化した配送ルートで配送する。

また、共同在庫の可能性も検討するため、一部商品は共同物流センターで在庫し、店舗別にピッキング等も実施するとのことだ。

対象店舗は、ファミリーマート13店舗、セブン-イレブン13店舗、ローソン14店舗の合計40店舗。

実施予定期間は、8月1日から8月7日の一週間で行われる。

今回の実証実験を通じて、物流の共同化の効果の検証や、新たな物流連携の拡大・効率化の検討を行うとともに、フードマイレージの削減、運行トラック数の減少による二酸化炭素排出量の削減といったSDGsの観点からの検証も実施していくとしている。








メーカー越えて共同配送

トヨタ系、スバルと

2020/7/27 18:18 (JST) | 7/27 18:31 (JST) updated

©一般社団法人共同通信社

-  トヨタ自動車系で車用品卸売りを手掛けるトヨタモビリティパーツ（名古屋市）は27日、トヨタに加え、他の自動車メーカーの補修用部品も販売店などに配送する取り組みを始めたと発表した。配送の効率化やコスト削減が狙い。異なる
-  送する取り組みを始めたと発表した。配送の効率化やコスト削減が狙い。異なる
-  メーカー同士が補修用部品の大規模な共同配送を手掛けるのは全国的にも珍しい
-  という。
-  共同配送は、SUBARU（スバル）と組んで三重県と愛知県で6月から順次開始。ダイハツ工業とも広島県と岐阜県でスタートする。今後は運用効果を検証しながら、協力する自動車メーカーや地域を拡大させる。

ご質問・ご相談は
お気軽にご連絡ください。

株式会社イーブライツ

TEL : 045-548-8115

FAX : 045-548-8116

Mail : info@e-bright.jp



社名	株式会社イーブライト
設立	平成25年
本社所在地	〒224-0021 横浜市都筑区北山田1-8-12-601(オフィス)
設立	平成25年
電話番号	045-548-8115
FAX	045-548-8116
代表者	羽根田 翔
資本金	1,000万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・貨物自動車運送事業・一般廃棄物の収集運搬・産業廃棄物の収集運搬
従業員数	13人